

平成29年度 山科区運営の総括表

基本方針・重点方針	平成29年度重点取組				
	取組名	目標	実績	備考	所属等
1 環境を守り継ぐ	1 山科区2万人まち美化作戦の実施	参加者数目標：2万人	・平成29年度は初めて大岩街道周辺企業から多数参加があり、小野学区自治連合会と連携して大岩街道の環境整備に取り組むことができました。今後も継続する予定。 参加人数：15,247人 回収ゴミ量：18.83t		
	2 笑顔と花いっぱいプロジェクトの実施	平成28年度に国道1号線（五条通）の歩道上に設置した1,800個のプランターの花を区民総出で春と秋に植え替える。また、新たに新十条通に、四季折々の花を植えたプランターを約1,000個設置する。	・五条通に1,000個のプランターを設置した。	・五条通のプランターとプランターの間隔を整理したため、1,800個から1,000個に変更した。 ・新十条通については、平成30年度に横断防止柵が設置される予定であり、その完成とあわせて設置している。	地域力推進室
	3 山科区フラワーロード推進事業の実施	花苗植数目標：6,000株	・例年どおり、区役所前、東部文化会館前花壇、JR山科駅前花を植えた。 花苗植数：4,592株	・平成29年度は、区役所上階公団住宅西棟の耐震工事があったため、区役所前の植栽活動が例年より少ない。	地域力推進室
	4 山科区民花の回廊募金の活用	東山自然緑地の公園にヤマザクラを植樹する。	・「山科区を様々な花でいっぱいしよう」という目標のもと、平成14年度から取組を始め、小学校をはじめ山科川左岸や東山自然緑地に桜やハナミズキなど様々な花の植栽を実施してきた。平成28年度に東山自然緑地の大規模工事のため延期をしていた植樹を行った。 ・植樹式 開催日：平成30年3月8日（木）	・平成28年度から実施されている東山自然緑地の整備計画において多数の樹木を植栽されることになっており、一定の目標を達成したことから平成29年度をもって事業を終了する。	
	5 「エコ学区」ステップアップ事業	「京エコライフプログラム(地域性を活かした学区独自のエコ活動を支援する公募型事業)」や省エネナビ(電気消費量計測機器)の貸出しによる「DO YOU KYOTO?クレジット認証制度」への応募及び地域の担い手セミナーへの全学区参加を支援する。	・エコ学区支援物品(リユース食器、自転車発電装置等)を8団体に貸出を行った。		地域力推進室 環境政策局
2 まちの魅力・観光を磨く	1 山科区公式アプリ「やましなプラス」の運用	ダウンロード数：6,000件	・平成29年5月に区役所、公共施設等の情報を発信するスマートフォンアプリ「やましなプラス」の運用を開始した。 利用者数：8,039件(平成30年3月31日時点) ニュース掲載記事数：527件(1.7件/日)(平成30年3月31日時点)		地域力推進室
	2 子ども向け文化・芸術体験事業の実施	子どもたちへの山科の文化・芸術理解を促進する。	・こども音楽体験ワークショップ 京都市立芸術大学音楽学部・音楽研究科の学生を講師に迎え、クラシック楽器の説明、体験及びミニコンサートを実施した。 開催日：平成29年12月24日（日） 開催場所：アスニー山科 参加者：34人 ・こども音楽入門ワークショップ 山科区在住の観世流能楽師吉浪壽見氏を講師に迎え、小中学生に分かりやすい能楽の説明、能面の着装、所作、謡い、太鼓・笛・大鼓・小鼓の囃子の体験を行った。また、能楽「橋弁慶」を鑑賞した。 開催日：平成29年3月10日(土)午後2時～3時30分 開催場所：随心院 参加者：18人		地域力推進室 子どもはぐくみ室
	3 山科検定の実施	受験申込者数：500名	・区民の皆様の山科への愛着を一層醸成するとともに、区外の皆様に対して山科の魅力を広げるため、第2回山科検定を開催した。 開催日：平成29年11月26日(日) 開催場所：京都薬科大学 受験者数：230名 合格者数：92名		
	4 ふれあい「やましな」区民ふれあい文化祭の実施	文化祭の実施による区民の相互交流を促進する。	・「区民ギャラリー」 入場者延べ数：約600人 出展作品：203点 ・「区民芸能フェア」 入場者延べ数：約3,500人 出演者：600人		
	5 ファムトリップ（旅行商品企画担当向け視察旅行）の実施	近畿、中部、中国地方からのバスツアー誘致を目指す。	・山科行き旅行商品を造成してもらうため、旅行会社の商品企画担当者を招へいし、現地を視察後、意見交換を行った。 開催日：平成30年2月15日 参加社数：1社（関西地域の企画責任者） 旅行会社を訪問のうえ商品造成を依頼した。 訪問日：平成30年2月28日 訪問社数：2社		
	6 京都・やましな観光ウィーク	山科の観光資源・地域資源をPRするため、効果的な広報を実施する。	・紅葉の美しい時期に山科の魅力発信し、誘客を図るため、山科の秋に特化した観光案内チラシを作成のうえ、配布・配架した。 チラシ印刷部数：8,000部		地域力推進室
	7 ふれあい「やましな」区民史跡の探訪(山科の魅力探訪)への支援	各団体独自に工夫を凝らした史跡巡りの探訪により、山科の魅力さをさらに広める。	登録団体：4団体	・平成29年度から「区民史跡の探訪支援事業」へ事業名を変更した。 ・平成30年度は、登録団体を4団体から5団体にする。	
	8 「大好き！やましな魅力発信プラットフォーム」の運営	京都橋大学と区役所との共同運営により、新規参加者及び情報発信件数の拡大を図る。	・区民が自由に情報を発信し、交換しあう場として、メールマガジンを活用してプラットフォームを運営した。 参加者数：110名 発信件数：591件		
	9 笑顔と花いっぱいプロジェクトの実施【再掲】	【再掲】	【再掲】	【再掲】	
3 交通・都市基盤を強化する	1 山科区の交通問題の改善に向けた取組	・バス待ち環境の改善 ・麓山循環系統バスやくるり山科（西野学区）の利便性向上 ・モビリティ・マネジメントの拡大による地域の公共交通の利便性向上	・麓山学区の取組が、近畿運輸局「平成29年度交通関係環境保全優良事業者等表彰」を受賞した。 ・麓山循環バスにおいて、平成29年10月1日より以前から地元が要望していた昼間の1便が増便となり、1日3便となった。 ・くるり山科において、以前から地元が要望していた最終便の1便増便が行われた。 ・さらなる利便性向上のため、地域におけるモビリティ・マネジメントが実施された。（麓山、西野、山階南の各学区）		地域力推進室 都市計画局
	2 小倉塚地域の安心・安全なまちづくりの推進	昨年度から行われている配水管及び舗装工事後、早期にバスが導入できるよう小倉塚自治連合会及び関係機関と連携しながら取組を進める。	・バス運行ルートの移管がされなかった土地所有者から、バス運行承諾書を取得し、バス運行ができる状態となる。（小金塚及び大津市藩尾） ・区内の水道管更新作業は終了した。 ・バス運行ルートの舗装復旧工事の約40%が完了した。		地域力推進室 建設局
	3 山科ならではの地域力・知恵を生かした空き家対策の推進	地域、不動産業者、専門家等との連携により、空き家の流通を促すとともに、空き家の発生を未然に防ぐ取組を推進する。	・地域を挙げて空き家問題の解決を図っていくため、平成30年2月に自治連合会や学識経験者、不動産業界団体、弁護士等の専門家からなる「山科区空き家対策プロジェクトチーム」を立ち上げた。	・今後、各自自治連合会の協力を得て、空き家の調査を実施し、その結果を基に以下の事業を実施する。 ・空き家の活用（市場での流通） ・空き家情報の収集とデータベース化、空き家所有者の調査、所有者との折衝（売却、賃貸等）、買い手、借り手の探索、新たな空き家の発生を防ぐ啓発、各学区でのセミナー等開催	地域力推進室
	4 不良な生活環境を解消するための取組	関係機関や地域と連携して実態調査を進めるとともに、要支援者が抱える課題や悩みを聴き、要支援者に寄り添った支援を行う。	・実態調査を行い、要支援者に対して、継続的な支援を行った。 ・取組状況 ごみ屋敷と判定：27件 ごみ屋敷ではないと判定：13件 継続調査：3件 解消：20件 ※平成26年11月条例施行後累計		地域力推進室 健康長寿推進課 障害保健福祉課 生活福祉課 子どもはぐくみ室 保健福祉局 消防局

4 保健・福祉・子育て支援を充実させる	1	やましなお誕生おめでとう事業の実施	9学区に4学区を追加して全13学区で実施する。	・全13学区で実施した。 訪問実績：277件（全出生の27.7%）	
	2	やましなお子育て情報発信事業の実施	情報誌の内容を充実させたいと、引き続き、様々な機会をとらえ、孤立しがちな未就園児を持つ家庭を中心に配布する。	・組織改正に伴い掲載内容を見直した。 ・やましなお誕生おめでとう事業における訪問、1歳6か月児健診等で配布した。	
	3	やましなっこひろばの運営	各小学校区又は近隣小学校区合同で、公園等のより身近な場所で開催できるよう取組を進める。	・地域子育て基幹ステーションを中心に、各学区で独自に企画した。 ・地域共催事業 ・実施回数：15回 ・参加人数：688人	
	4	「京都市山科区要保護児童対策地域協議会」の適切な運営	「代表者会議」、「実務者会議」、「個別ケース検討会議」の実施により顔の見える関係づくりを大切にし、児童虐待防止に努める。	代表者会議：1回 実務者会議：4回 個別ケース会議：38回	
	5	やましな子育て支援連絡会の充実	「代表者会議」を年1回以上開催し、幹事会を中心に研修や事例検討会、障がい児長期休み支援事業（あそびの広場）等を実施する。	代表者会議：1回 幹事会：1回 研修会：1回（参加人数：55人） 「ちょっと気になる子どもと親への支援」	
	6	子育て支援基幹ステーションの活動の支援	基幹ステーション会議を年1回以上開催し、地域の子育て支援状況を把握し、基幹ステーションの活動を支援する。	基幹ステーション会議：1回	子どもはぐくみ室
	7	訪問相談指導、乳幼児健康診査の実施・促進	乳幼児の健やかな育成を図るため、乳幼児健康診査の受診率向上の取組や訪問相談等を実施する。	・4か月児健診 48回実施 992人受診、受診率96.5% ・8か月児健診 47回実施 964人受診、受診率96.5% ・1歳6か月児健診 36回実施 1,042人受診、受診率96.4% ・3歳児健診 36回実施 964人受診、受診率96.6% ・訪問指導等：1,075件	
	8	相談対応やパパ・ママ教室などの子育て支援の実施	パパ・ママ教室や親子の健康づくり講座の定期的実施する。	・プレパパ・ママ教室 18回開催 180人参加 ・親子の健康づくり講座 17回開催 201組参加 ・パパ・ママ教室 12回開催 72組参加	
	9	子育てに関する総合的な相談支援窓口「子育て支援コンシェルジュ」の推進	5月8日に設置する「子どもはぐくみ室」の全ての職員が総合的な窓口業務を推進する。	・やましなのマスコットキャラクター「もてなす君」をモチーフにした子育てコンシェルジュバッジを作成し、子どもはぐくみ室職員全員が名札と共に着用して、職員の意識高揚を図った。	
	10	「子どもはぐくみ情報コーナー」の設置	子育て家庭に子どもや子育てに係る情報をより幅広く発信・提供する。	・地域の子育て支援情報は1箇所にとまらせず、見やすくなるよう工夫した。	
	11	山科赤ちゃんフェアの開催	参加者数目標：1,000人	・山科区保育園まつりと融合し、山科赤ちゃんフェアを実施した。 日時：平成29年12月2日（土） 開催場所：東部文化会館 参加人数：1,000人	地域力推進室 子どもはぐくみ室
	12	山科区健康寿命延伸プロジェクト やましな新聞さん見守りネットワーク事業の実施	区内の新聞販売所や地域包括支援センター等の関係機関と連携し、一人暮らしの高齢者等の突然の体調悪化や事故等の真実を速やかに察知対応する。	・「じっちゃんとおぼく・わたしの夏休みプラン」～清水橋の絵付け体験及び地産野菜クッキング体験～ 開催日 ①給付：平成29年7月26日（水） ②クッキング：平成29年8月10日（木）と8月18日（金）に分けて実施した。 参加者：19組（30組の応募があり、抽選により20組に決定したが、1組のキャンセルあり） ・「こころ静かに写経・写仏体験」～読む・書く…脳を動かし健康生活～ 開催日 ①平成29年3月6日（火） ②平成29年3月11日（日） 開催場所：随心院 参加者数：両日合わせて23人（先着順24人のうち、1名キャンセル）	
	13	山科区フリースペースの設置・運営	地域福祉推進委員会の活動を通じて、事業の安定した運営や内容の充実を図り、地域社会の絆づくりに努める。	・9学区13箇所で開催した。また、フリースペースの活用方法について、区内の高齢者に対し情報提供するため、冊子「ふりすべ知ってほ？」を作成した。 ・発行部数：3,000部	健康長寿推進課
	14	健康づくりサポーター「キャット・ハンズ」とウォーキングの実施	山科区民を対象としたウォーキングを年3回開催する。	・年4回実施した。（平成28年度天候不良で年2回の実施となったため、平成29年度に実施回数を増やした。） 1：大石神社コース、2：山科疎水コース、3：山科中央名所コース、4：山科・追分コース 定員：各50名（計200名） 参加人数：137人（延べ）	・共汗ウォーキング以外にも、サポーター活動の中でウォーキングを毎週3回定期的に実施しており、サポーターの負担が大きいことを考慮し、平成30年度は実施回数を年2回に見直す。
	15	介護保険事業の適正かつ円滑な実施	窓口等での丁寧な説明に努めるとともに、保険料の徴収率の向上と適正な要介護認定・保険給付に努める。	・市民しんぶん版への掲載やチラシ、ポスターによる制度の周知に努めるとともに適正な事務の実施に努めた。	
	16	地域福祉推進委員会活動の充実	会議等に積極的に参加する中で、山科区社会福祉協議会と協働し、地域福祉の向上を目指す。	・本委員会（2回）、作業部会（3回）、事務局会議（適宜）、「山科区の地域福祉を考える集い」（1回）を開催した。	
	17	地域包括支援センター（高齢サポート）の活動の支援	地域包括支援センターが主催する日常生活圏レベルの「地域ケア会議」開催を支援する。また、「山科区地域包括支援センター運営協議会」を年3回開催し、地域課題解決に向けた事業化の検討提案をする。	・日常生活圏レベル「地域ケア会議」：区内5か所の地域包括支援センター毎に年2回ずつ実施した。 ・運営協議会：年3回実施した。	
	18	山科区公式アプリ「やましなプラス」を活用した健康ウォーキングの促進	アプリを活用し、利用者の歩行数の増加と健康意識の向上を高めることで、区民の健康増進を図る。	健康ウォーキング登録者数1,602名 発行済みやましなポイント：23,858,600pt（238,586円相当）（平成30年3月31日時点）	地域力推進室
	19	東部障害者地域自立支援協議会活動の充実	支援会議や運営会議等に積極的に参加する。	・運営会議等に積極的に参加するとともに、各部会を中心とした研修会等の企画に積極的に取り組み、東部圏域での連携体制づくりを行った。 全体会議：1回、運営会議：12回、支援会議：4回、児童部会：5回、触法部会：23回、GH部会：3回、災害部会：6回、支援センター部会：3回、地域懇談会：1回、地域研修会：1回 ※各部会には、研修会、学習会等を含む。	・平成29年度から、新たにGH部会（グループホーム部会）と災害部会が設けられた。
	20	こころのふれあいネットワーク事業の実施	夏まつり・シンポジウム等を開催する。	・地域における精神障害者への理解を促進するためのイベントやシンポジウム等を実施するとともに、精神障害者に対する正しい知識の普及のため、紙芝居による啓発活動にも積極的に取り組んだ。 ・山科こころのふれあい夏まつり 開催日：平成29年7月31日（月） 開催場所：アスニー山科 参加者数：418名 ・精神保健福祉シンポジウム 開催日：平成30年2月21日（水） 開催場所：アスニー山科 参加者数：101名 ・啓発のための紙芝居 参加者数：約80名（4回開催）	・平成29年度から、地域に密着した啓発活動として、平成28年度に製作した紙芝居を活用した活動を新たに開始した。
	21	福祉医療に係る事務の適正かつ円滑な実施	窓口等での丁寧な説明、適正な資格認定・給付事務に努める。	・市民しんぶん版への掲載やチラシ、ポスターによる制度の周知に努めるとともに、適正な事務を実施した。	健康長寿推進課 障害保健福祉課 子どもはぐくみ室

	22	国民健康保険事業等の適正かつ円滑な実施	わかりやすく信頼される丁寧な窓口対応、保険料徴収率の向上、適正な資格賦課及び保険給付を実施する。	・窓口や電話で制度、手続きの丁寧な説明に努め、様々な取り組みにより徴収率の向上と適正な資格賦課に努めた。徴収率は91.44%と前年比+0.34ptの結果となり、高額困難案件の集中的な取組での前進ができた。		保険年金課
5 地域のつながりを強める	1	世界一安心安全・おもてなしのまち京都市民ぐるみ推進運動	防犯カメラを増設し、笑顔と花いっぱいプロジェクトでは新たに新十条通にもプランターを設置することにより、犯罪の起こりにくいまちづくり、人口当たりの刑法犯認知件数を全行政区中最小にすることを目標とする。	・「安心・安全やまなし笑顔ときずなパレード」を実施した。 開催日：平成29年9月16日（土） ・民生児童委員会・山科警察署・山科区役所の3者で、特殊詐欺等の被害から高齢者を守る協定を締結。平成30年2月14日にスタート式「高齢者被害ゼロ・やまなし大作戦」を開催した。 ・64台の防犯カメラの設置に対して設置費用を9割助成 ・防犯プレート8,900枚配布した。 ・青色パトロール活動に対して1台月額1,000円の活動費を助成した。 ・まち歩き（陵ヶ岡、山階南、大宅）を実施した。		地域力推進室 文化市民局
	2	山科“きずな”支援事業	支援の充実を図るため、補助金の交付のほか、まちづくり講座、活動報告会を実施する。	・区民の主体的なまちづくりを支援するため、地域団体、NPO法人、大学等が自発的・自主的に企画、運営する事業に対し、以下のとおり支援を行った。 申請事業数：36件 補助金交付決定事業数：35件 交付確定額：6,118千円 ・きずな支援事業活動報告会 開催日：平成30年3月3日（土） 参加者数：78名		
	3	「山科区民まちづくり会議」の運営	「山科区民まちづくり会議」の運営等を通じ、区民、地域団体、事業者、大学等と連携・協働し、計画を更に推進する。	・第2期山科区基本計画の推進のため、2回に分けて会議を開催し、第1回では、山科区のまちづくりに関する課題の抽出、第2回では具体的な施策、事業の検討を行った。 ・第1回山科区民まちづくり会議 開催日：平成29年9月7日（木） ・第2回山科区民まちづくり会議 開催日：平成29年10月27日（火）		
	4	やまなしGOGOカフェの運営	まちづくりに関心のある区民同士が交流会を深め、行動のきっかけとなるような場を目指す。	・区民が出会い、行動のきっかけとなる場として計4回開催した。 ・第1回 開催日：平成29年5月27日（土） 参加者数：20名 ・第2回 開催日：平成29年7月22日（土） 参加者数：136名 ・第3回 開催日：平成29年12月16日（土） 参加者数：28名 ・第4回 開催日：平成30年3月3日（土） 参加者数：78名		地域力推進室口
	5	「やまなし子ども・若者会議（仮称）」の開催	子どもを核にした多世代交流を促進する。	・「やまなし子ども若者会議」の一環として、東部文化会館の活用や山科の文化・芸術をテーマに意見交換（やまなしの「文化・芸術」の話をしよう）を行った。 開催日：平成30年3月1日（木） 開催場所：東部文化会館 参加者数：15名		
	6	地域の防災力アッププロジェクト	地域との連携・協働により、避難所運営マニュアルの実効性を高めるための取組を行い、防災力の更なる向上を図る。	・自主防災会等による避難所運営訓練を5学区で実施した。また、避難所運営に際して必要となるブルーシートやヘルメット等の物品を各学区に配布した。	・平成30年度はこれまで各学区で実施してきた防災訓練の集大成として、災害の発生から、全学区一斉の避難所の開設、閉鎖に至るまでの一連の訓練を実施する。	
	7	ふれあい“やまなし”区民まつりの実施	より多くの団体や、多様な年齢層の区民が参加するように内容を充実していく。	参加者：約21,000人（平成28年度 2万人） 出展ブース数：48ブース（平成28年度 42ブース） ステージ出演団体数：13団体（平成28年度 13団体）		
	8	生活安全条例に基づく施策の推進	学区の安心安全ネット継続支援事業を全13学区で実施する。	・自治連合会等が実施する防犯パトロール活動等に必要物品の経費について、1学区あたり25,000円を12学区に助成した。		
	9	被害対策チームの運営	各学区の被害対策チームと連携を図り、生活被害に遭われた方への被害防除物品の貸出し継続、追い払い物品の提供、被害防除勉強会を開催する。	・イノシシ用の柵を新たに5件貸し出し、継続分と合わせて延べ36件貸し出した。		地域力推進室 産業観光局
	10	個人情報の保護を基本とした円滑な行政サービスの提供	個人情報の保護に万全を期すとともに、的確で迅速な事務処理、親切丁寧な対応に努める。また、課内会議、研修等により更なるサービス向上を図る。	・個人情報の保護に万全を期すとともに、的確で迅速な事務処理、親切丁寧な対応に努めた。また、市民サービス向上のため、定期的に課内会議を開催することにより職員間の情報共有を図るとともに、平成29年12月には市民応対向上のための職場研修を実施した。		市民窓口課
	11	区民サービスの向上	“きょうかん”ミーティングの実施、各種研修の充実等により、職員の資質向上を図る。	・各所属において、“きょうかん”ミーティングの実施、各種研修の充実等により、職員の資質向上を図った。		全課共通
	12	笑顔と花いっぱいプロジェクトの実施【再掲】	【再掲】	【再掲】	【再掲】	地域力推進室